



**Stellantis の 2022 年度上半期（1～6 月期）の調整後売上高営業利益率が
過去最高の 14.1%に**

**純利益は 80 億ユーロ、製造用フリーキャッシュフロー は 53 億ユーロを達成
グローバルのバッテリーEV 販売台数は前年同期比ほぼ 1.5 倍に達し、
欧州ではバッテリーEV の販売台数でトップメーカーの一角に**

- 純売上げは前年同期比 17%増の 880 億ユーロ（速報値）。適正なプライシング、ならびに販売ミックスの良化と為替変動が好業績に貢献
- 調整後営業利益は前年同期比 44%増の 124 億ユーロ。営業利益率はグループ全体で 14.1%。また、すべてのリージョンで 2 桁の営業利益率を達成
- 純利益は前年同期比 34%増の 80 億ユーロ
- 製造用フリーキャッシュフローは前年同期比 65 億ユーロ増の 53 億ユーロ
- 製造用手元流動性は 597 億ユーロと潤沢
- 2022 年度上半期に Stellantis は EU30 か国内においてバッテリーEV（BEV）とローエミッションビークル（LEV）の販売台数で 2 位。アメリカ合衆国では LEV の販売台数で 3 位
- グローバルでの BEV 販売台数は前年同期比 50%増の 136,000 台
- 上記全ての 2021 年度上半期との比較値は速報値

「厳しい世界情勢の中、私たちは長期事業戦略の「Dare Forward」をさらに前進させるとともに卓越した業績を上げ、大胆な電動化戦略を実行に移しています。刻々と変わりゆく事業環境への適応力に溢れた敏捷で起業家精神に満ちた従業員と、革新的なパートナーの皆さんと一丸となって、Stellantis は持続可能なモビリティテックカンパニーへと変貌を遂げつつあるのです。本日発表させていただいた素晴らしい業績に対する全ての従業員のコミットメントと貢献に、心から感謝いたします」

CEO カルロス・タバレス

*本リリースにおける「電動化」「エレクトリフィケーション」（英語：electrified など）は、動力源として、ICE（Internal Combustion Engine：内燃機関）に加えて電気を使用したハイブリッド（HEV）、プラグイン・ハイブリッド（PHEV）、水素燃料電池（FCV）などを含む表現です。必ずしもバッテリーと電気モーターのみを動力源とした電気自動車（BEV、フル EV）だけを指すものではありません。

2022年7月28日、オランダ・アムステルダム発——ステランティス N.V. (NYSE / MTA / Euronext Paris: STLA) が推進する Stellantis の長期事業戦略「Dare Forward 2030」は BEV とプラグイン・ハイブリッド車 (PHEV) や燃料電池車を含む LEV の販売台数の大幅に伸びに支えられ、フルスピードで前進しています。

今年の上半期に Stellantis は EU30 か国内において BEV と LEV の販売台数で 2 位 (LEV トップとの差は 10 万台以下) となり、アメリカ合衆国では Stellantis の LEV 販売台数が 3 位となりました。その結果、Stellantis の BEV 世界販売台数は上半期に前年同期比約 50%増の 136,000 台となりました。現在 20 の BEV をラインナップしており、2024 年までにさらに 28 の BEV を投入する予定です。

バッテリーエコシステムを強化：Stellantis は Automotive Cells Company、サムスン SDI、LG エナジーソリューションと提携し、5 か所のギガファクトリー (欧州 3 拠点、北米 2 拠点) の建設予定地を公表しました。また、欧州ではバルカン・エナジー、北米では Controlled Thermal Resources と契約し、低炭素水酸化リチウムの供給を強化。サムスン SDI と LG エナジーソリューションの契約は、条件等の最終確認と規制当局の承認を経てから締結される予定です。

グローバルモビリティ・リーダーシップ：ドイツのカーシェアリングサービスの Share Now を買収し、すでに Stellantis 傘下にある Free2move と合わせて全世界で 600 万人以上の顧客を持つ、新たなモビリティソリューションの世界的リーダーとなりました。

トランスフォーメーションのための新たなパートナーシップ：アマゾンおよびクアルコムとグローバルな複数年契約を締結し、Stellantis の数百万人の顧客に対する全く新しい乗車エクスペリエンスを開発することを公表しました。

北米：2022 年上半期の北米事業の調整後営業利益率は 18.1%となり、過去最高の収益性を達成しました。また、シェアは前年同期比 0.4%増えて 11.3%となり、このうちアメリカ合衆国でのシェアは 0.5%増の 11.7%でした。ジープ・ラングラー4xe は上半期に前年同期比 55%増のおよそ 19,000 台を販売し、引き続き米国で最も売れている PHEV でした。新型ジープ・グランドチェロキー4xe は現在、ディーラーに続々と到着しつつあり、新型ワゴニア L とグランドワゴニア L が今年後半に登場します。

欧州圏：2022 年上半期の欧州事業の調整後営業利益率は 10.4% (前年同期比 1.6%増) でした。EU30 か国ではシェア 21.2% (前年同期比 1.9%減) を達成。ドイツとイタリアでは新型フィアット 500e が、フランスではプジョー e-208 が BEV 販売台数 1 位となりました。イタリアではジープ・コンパスとレネゲードが LEV の販売台数ランキングで 1 位と 2 位を独占。EU30 か国の販売台数ランキングでは、プジョー 208、オペル・コルサ、シトロエン C3、フィアット・パンダ、フィアット 500 がトップ 10 のうちの 5 台を占めています。

その他のリージョン：3 つのリージョン全てにおいて 2 桁の調整後営業利益率を達成しました。南米：調整後営業利益は前年同期比約 3 倍の 10 億ユーロを達成し、調整後営業利益率は 13.9%となりました。また、南米におけるシェアは 23.5%で同地域のマーケットリーダーでした。フィアットは同リージョンのトップセラーブランド、ジープはブラジルで最

も販売台数の多かった SUV ブランドとなっています。中東およびアフリカ：調整後営業利益率は過去最高となる 5.8%増の 15.5%でした。調整後営業利益は 4 億 7,200 万ユーロ、シェアは 0.2%増の 11.9%となっています。中国、インド・アジア太平洋リージョン：調整後営業利益率は 13.4%で調整後営業利益は前年同期比 40%増の 2 億 8,900 万ユーロでした。今年の上半期にはインドで新型ジープ・メリディアンとシトロエン C3 を発売し、それぞれ 6 月と 7 月から納車を開始しています。

マセラティ：2 桁の利益率達成に向けて着実に前進を続けています。2022 年上半期の調整後営業利益率は前年同期比 3.3%増の 6.6%でした。調整後営業利益は前年同期比で 2 倍強の 6,200 万ユーロを達成。5 月には新型 MC20 シエロを発表したのに加え、6 月末には新型グレカレの販売を開始し、欧州では納車がスタート。7 月には限定車のスーパーカーを発表しています。

注：特に記載のない限り、シェアおよびランキングは 2022 年上半期の速報値をベースに前年同期と比較した参考数値となっており、2021 年 1 月 1 日～16 日の合併完了前の期間中の台数は旧 FCA 時代のものを適用しています。

ステランティスについて

Stellantis N.V. (NYSE / MTA / Euronext Paris: STLA) は世界を代表する自動車メーカーでありモビリティプロバイダーです。我々の歴史あるアイコンックなブランド、すなわち Abarth、Alfa Romeo、Chrysler、Citroën、Dodge、DS Automobiles、Fiat、Jeep®、Lancia、Maserati、Opel、Peugeot、Ram、Vauxhall、Free2move および Leasys は、ビジョナリーな創始者たちの情熱を受け継ぎ、現代の消費者が求める革新的な製品とサービスへの期待を具現化しています。多様性を強さに、私たちは世界の動きに先駆けて道を切り拓きます。規模を追うのではなく、最も質の高いモビリティ・テクノロジー企業となるべく取り組み、全てのステークホルダーと Stellantis が事業を行うコミュニティに付加価値をもたらすことを目標にしています。詳細は、www.stellantis.com をご覧ください。

お問い合わせ先（報道関係者）
Stellantis ジャパン株式会社 広報部
japan-pr@stellantis.com（広報部代表）
メディアサイト：www.stellantis.jp